

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産	
信託期間	2020年2月19日まで（2015年2月27日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	世界CoCosオープン為替ヘッジありコース（毎月決算型）	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス 受益証券 および マネー・プール マザーファンド 受益証券
	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス	世界各国の金融機関が発行する CoCos
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 ・信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 ・保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・1発行体等あたりの株式等、債券等およびデリバティブ等の当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とします。	
分配方針	毎月19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）

愛称：ココマスター



第29期（決算日：2017年9月19日）

第30期（決算日：2017年10月19日）

第31期（決算日：2017年11月20日）

第32期（決算日：2017年12月19日）

第33期（決算日：2018年1月19日）

第34期（決算日：2018年2月19日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）」は、去る2月19日に第34期の決算を行いましたので、法令に基づいて第29期～第34期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
5 期(2015年 9 月24日)	10, 001	25	0. 4	0. 0	—	98. 0	1, 023	
6 期(2015年10月19日)	9, 876	25	△1. 0	0. 0	—	98. 0	964	
7 期(2015年11月19日)	10, 063	25	2. 1	0. 0	—	98. 0	880	
8 期(2015年12月21日)	10, 035	25	△0. 0	0. 0	—	98. 0	1, 112	
9 期(2016年 1 月19日)	9, 855	25	△1. 5	0. 0	—	98. 5	1, 055	
10期(2016年 2 月19日)	9, 339	25	△5. 0	0. 0	—	98. 0	928	
11期(2016年 3 月22日)	9, 585	25	2. 9	0. 0	—	98. 0	887	
12期(2016年 4 月19日)	9, 392	25	△1. 8	0. 0	—	98. 0	862	
13期(2016年 5 月19日)	9, 439	25	0. 8	0. 0	—	98. 0	865	
14期(2016年 6 月20日)	9, 420	25	0. 1	0. 0	—	98. 0	840	
15期(2016年 7 月19日)	9, 599	25	2. 2	0. 0	—	98. 0	493	
16期(2016年 8 月19日)	9, 835	25	2. 7	0. 0	—	98. 0	491	
17期(2016年 9 月20日)	9, 838	25	0. 3	—	—	98. 0	425	
18期(2016年10月19日)	9, 831	25	0. 2	—	—	98. 0	418	
19期(2016年11月21日)	9, 771	25	△0. 4	—	—	98. 0	395	
20期(2016年12月19日)	10, 157	25	4. 2	—	—	98. 0	350	
21期(2017年 1 月19日)	10, 224	25	0. 9	—	—	98. 0	327	
22期(2017年 2 月20日)	10, 360	25	1. 6	—	—	98. 0	322	
23期(2017年 3 月21日)	10, 500	25	1. 6	—	—	98. 0	319	
24期(2017年 4 月19日)	10, 527	25	0. 5	—	—	98. 0	290	
25期(2017年 5 月19日)	10, 823	25	3. 0	—	—	98. 0	274	
26期(2017年 6 月19日)	10, 896	25	0. 9	—	—	98. 0	271	
27期(2017年 7 月19日)	11, 023	25	1. 4	—	—	98. 0	274	
28期(2017年 8 月21日)	11, 088	25	0. 8	—	—	98. 0	270	
29期(2017年 9 月19日)	11, 148	25	0. 8	—	—	98. 0	276	
30期(2017年10月19日)	11, 278	25	1. 4	—	—	98. 0	271	
31期(2017年11月20日)	11, 366	25	1. 0	—	—	98. 4	264	
32期(2017年12月19日)	11, 396	25	0. 5	—	—	98. 9	265	
33期(2018年 1 月19日)	11, 577	25	1. 8	—	—	98. 7	266	
34期(2018年 2 月19日)	11, 417	25	△1. 2	—	—	98. 8	253	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率			
第29期	(期 首)	円	%	%	%	%
	2017年 8 月21日	11,088	—	—	—	98.0
	8 月末	11,087	△0.0	—	—	98.0
	(期 末)					
	2017年 9 月19日	11,173	0.8	—	—	98.0
第30期	(期 首)					
	2017年 9 月19日	11,148	—	—	—	98.0
	9 月末	11,148	0.0	—	—	98.0
	(期 末)					
	2017年10月19日	11,303	1.4	—	—	98.0
第31期	(期 首)					
	2017年10月19日	11,278	—	—	—	98.0
	10 月末	11,424	1.3	—	—	98.0
	(期 末)					
	2017年11月20日	11,391	1.0	—	—	98.4
第32期	(期 首)					
	2017年11月20日	11,366	—	—	—	98.4
	11 月末	11,430	0.6	—	—	98.5
	(期 末)					
	2017年12月19日	11,421	0.5	—	—	98.9
第33期	(期 首)					
	2017年12月19日	11,396	—	—	—	98.9
	12 月末	11,418	0.2	—	—	98.8
	(期 末)					
	2018年 1 月19日	11,602	1.8	—	—	98.7
第34期	(期 首)					
	2018年 1 月19日	11,577	—	—	—	98.7
	1 月 末	11,536	△0.4	—	—	98.7
	(期 末)					
	2018年 2 月19日	11,442	△1.2	—	—	98.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

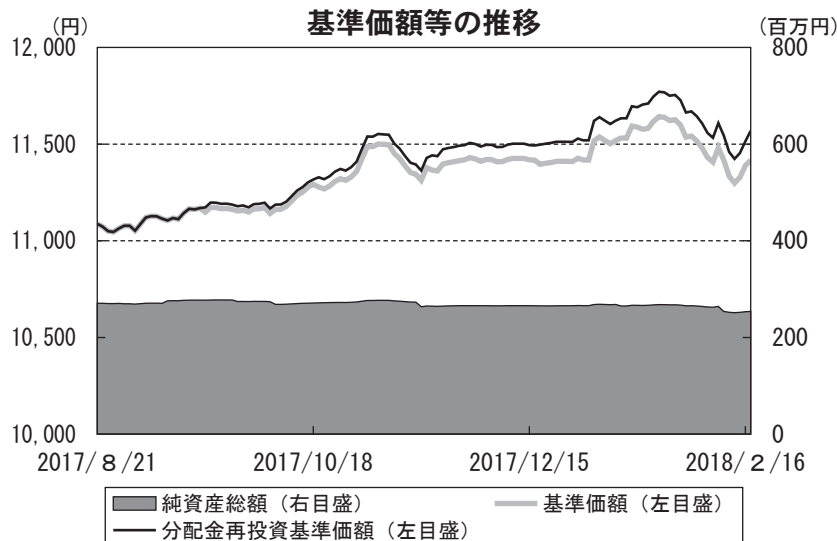
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第29期～第34期：2017/8/22～2018/2/19）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第29期首：11,088円
第34期末：11,417円
（既払分配金 150円）
騰落率：4.3%
（分配金再投資ベース）

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことやC o C o s 市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第29期～第34期：2017/ 8 /22～2018/ 2 /19）

◎C o C o s市況

- ・当作成期を通してみると、C o C o s市況は上昇しました。
- ・債券市場では、米国とドイツの長期金利は米国税制改革法案の成立などを背景とした米国の景気拡大期待が高まったことや、欧州の金融政策の正常化が意識されたことなどから、上昇しました。
- ・このような環境下、C o C o s市況は米国とドイツの長期金利が上昇したことなどはマイナスとなったものの、株式市況が堅調に推移したことなどを背景に投資家のリスク選好姿勢が強まるなか、スプレッドが縮小したことや債券利子収入を享受したことなどがプラスとなり、上昇しました。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下はマイナス0.04%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。2017年9月上旬にかけて地政学的リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.23%程度まで低下しました。その後、一時的に上昇したものの、11月下旬にかけてマイナス0.25%程度まで低下しました。当作成期末にかけては短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.18%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<世界C o C o sオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）>

- ・ 当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド J P Yヘッジド・クラスの受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

<ワールド・ココス・ファンド J P Yヘッジド・クラス>

- ・ 世界各国の金融機関が発行するC o C o sに投資を行い、保有する外貨建資産について、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
- ・ ポートフォリオの構築にあたっては、経済や金利などのマクロ的な投資環境の予測を基にしたトップダウン・アプローチと、個々の発行体の債務返済能力などを調査・分析するボトムアップ・アプローチを統合的に活用し、クレジット・ファンダメンタルズを重視した銘柄選択を実施しました。主として相対的に高い利回りが期待されるC o C o sに分散投資を行いました。
- ・ 経済環境が良好な国で事業を行っている発行体、かつ発行体の資本、流動性、リスクなどが改善傾向にあると考える銘柄を選好した結果、国別配分では、スペインやフランスなどを多めに組み入れました。
- ・ 銘柄選択では、発行体の財務健全性やバリュエーションなどを勘案し、インテサ・サンパオロやクレディ・スイス・グループなどを多めに組み入れました。
- ・ 当作成期は、債券利子収入を享受したことやC o C o s市況が上昇したことなどがポートフォリオのリターンにプラスとなりました。また、為替ヘッジを行ったため、為替変動に伴うリターンへの影響は限定的となりました。

（ご参考）
銘柄格付別組入比率

（現地2018年 1 月末）

格付	比率
A A A	—
A A	—
A	—
B B B	41.4%
B B	37.2%
B	18.5%
C C C	—
C C 以下	—
格付けなし	—

※比率はワールド・ココス・ファンド全体の純資産総額に対する割合です。

※保有している証券に係る格付けにおいて、S & P社、Moody' s社およびFitch社により格付けが付与されている銘柄については、最も高い格付けをS & P社の表示方法で表記しています。（格付けのデータ出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー）

（注）当記載は、ワールド・ココス・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

＜マネー・プール マザーファンド＞

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、利子等収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は当作成期首と比べて下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年8月22日～ 2017年9月19日	2017年9月20日～ 2017年10月19日	2017年10月20日～ 2017年11月20日	2017年11月21日～ 2017年12月19日	2017年12月20日～ 2018年1月19日	2018年1月20日～ 2018年2月19日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.224%	0.221%	0.219%	0.219%	0.215%	0.218%
当期の収益	25	25	25	22	25	15
当期の収益以外	—	—	—	2	—	9
翌期繰越分配対象額	1,180	1,310	1,398	1,429	1,609	1,600

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<世界C o C o sオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラスの受益証券を主要投資対象とします。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券へも投資を行います。

<ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス>

◎運用環境の見通し

- ・欧州金融機関の中長期的なファンダメンタルズは一部を除き底堅いものであり、C o C o s 市況のサポート要因になると考えます。なお、バーゼルⅢ（金融機関の自己資本の「質」と「量」の強化を目的とした新たな自己資本比率規制）の導入によって、銀行セクターが自己資本の強化やレバレッジ解消を進めていることも、銀行セクターのリスク低下の要因となっています。またC o C o s は、新しい資産クラスであることや構造が複雑であることから市場の理解が十分に進んでいない面もあります。こうした銀行セクターやC o C o s への市場の理解が進む過程において、C o C o s への需要は今後更に高まっていくとみています。こうした見通しの下、スプレッド水準はファンダメンタルズ対比で高い水準にあり、比較的高いインカム収入とスプレッドの縮小の可能性から、C o C o s には投資機会があるとみています。

◎今後の運用方針

- ・世界各国の金融機関が発行するC o C o s に投資を行い、保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。
- ・資本、流動性、リスク等の面で改善が続くことが見込まれる発行体に関して、クレジット・ファンダメンタルズに基づく運用を行う方針です。加えて、事業環境の改善が見込まれる国で事業を行っている発行体を重視する方針です。また、足下のバリュエーションは引き続き魅力的な水準にあるとみており、市場動向を注視しつつ、投資機会を探っていく方針です。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 8 月22日～2018年 2 月19日)

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	63	0.553	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(21)	(0.188)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.349)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	63	0.555	
作成期中の平均基準価額は、11,340円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年 8 月22日～2018年 2 月19日)

投資信託証券

銘 柄		第29期～第34期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス	千口	千円	千口	千円
		1	11,121	3	34,600

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月22日～2018年2月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第28期末	第34期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス	千口 25	千口 23	千円 250,726	% 98.8
合 計	25	23	250,726	98.8

(注) 比率は世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	第28期末	第34期末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・プール マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

○投資信託財産の構成

(2018年2月19日現在)

項 目	第34期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 250,726	% 98.4
マネー・プール マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	4,016	1.6
投資信託財産総額	254,751	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2017年9月19日現在	2017年10月19日現在	2017年11月20日現在	2017年12月19日現在	2018年1月19日現在	2018年2月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	277,753,326	273,603,742	274,456,511	266,025,006	267,056,525	254,751,512
コール・ローン等	6,353,539	7,020,821	13,933,487	3,966,383	4,182,303	4,014,696
投資信託受益証券(評価額)	271,389,789	266,372,923	260,513,026	262,048,625	262,864,224	250,726,819
マネー・プール マザーファンド(評価額)	9,998	9,998	9,998	9,998	9,998	9,997
未収入金	—	200,000	—	—	—	—
(B) 負債	863,331	1,766,048	9,640,210	931,899	827,707	883,935
未払金	—	800,000	—	—	—	—
未払収益分配金	620,948	602,582	582,499	581,529	574,912	555,920
未払解約金	131	112,770	8,790,391	114,763	—	79,663
未払信託報酬	241,313	249,728	266,273	234,698	251,821	247,397
未払利息	12	10	23	6	6	5
その他未払費用	927	958	1,024	903	968	950
(C) 純資産総額(A－B)	276,889,995	271,837,694	264,816,301	265,093,107	266,228,818	253,867,577
元本	248,379,240	241,032,970	232,999,680	232,611,770	229,964,905	222,368,143
次期繰越損益金	28,510,755	30,804,724	31,816,621	32,481,337	36,263,913	31,499,434
(D) 受益権総口数	248,379,240口	241,032,970口	232,999,680口	232,611,770口	229,964,905口	222,368,143口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,148円	11,278円	11,366円	11,396円	11,577円	11,417円

○損益の状況

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年8月22日～ 2017年9月19日	2017年9月20日～ 2017年10月19日	2017年10月20日～ 2017年11月20日	2017年11月21日～ 2017年12月19日	2017年12月20日～ 2018年1月19日	2018年1月20日～ 2018年2月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	769,209	782,763	747,668	616,971	651,340	597,667
受取配当金	769,568	782,975	748,017	617,135	651,490	597,819
受取利息	5	10	—	4	—	—
支払利息	△ 364	△ 222	△ 349	△ 168	△ 150	△ 152
(B) 有価証券売買損益	1,556,495	3,196,699	2,140,671	917,843	4,328,477	△ 3,359,896
売買益	1,581,577	3,230,504	2,194,709	918,260	4,357,945	87,493
売買損	△ 25,082	△ 33,805	△ 54,038	△ 417	△ 29,468	△ 3,447,389
(C) 信託報酬等	△ 242,240	△ 250,686	△ 267,297	△ 235,601	△ 252,789	△ 248,347
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,083,464	3,728,776	2,621,042	1,299,213	4,727,028	△ 3,010,576
(E) 前期繰越損益金	25,653,559	26,173,269	28,296,125	30,254,797	30,585,953	33,558,081
(F) 追加信託差損益金	1,394,680	1,505,261	1,481,953	1,508,856	1,525,844	1,507,849
(配当等相当額)	(2,216,697)	(2,293,615)	(2,244,034)	(2,269,661)	(2,277,929)	(2,235,089)
(売買損益相当額)	(△ 822,017)	(△ 788,354)	(△ 762,081)	(△ 760,805)	(△ 752,085)	(△ 727,240)
(G) 計(D+E+F)	29,131,703	31,407,306	32,399,120	33,062,866	36,838,825	32,055,354
(H) 収益分配金	△ 620,948	△ 602,582	△ 582,499	△ 581,529	△ 574,912	△ 555,920
次期繰越損益金(G+H)	28,510,755	30,804,724	31,816,621	32,481,337	36,263,913	31,499,434
追加信託差損益金	1,394,680	1,505,261	1,481,953	1,508,856	1,525,844	1,507,849
(配当等相当額)	(2,216,697)	(2,293,615)	(2,244,034)	(2,269,661)	(2,277,929)	(2,235,089)
(売買損益相当額)	(△ 822,017)	(△ 788,354)	(△ 762,081)	(△ 760,805)	(△ 752,085)	(△ 727,240)
分配準備積立金	27,116,075	29,299,463	30,334,668	30,972,481	34,738,069	33,351,481
繰越損益金	—	—	—	—	—	△ 3,359,896

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 244,286,105円
 作成期中追加設定元本額 7,357,204円
 作成期中一部解約元本額 29,275,166円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,1417円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年8月22日～ 2017年9月19日	2017年9月20日～ 2017年10月19日	2017年10月20日～ 2017年11月20日	2017年11月21日～ 2017年12月19日	2017年12月20日～ 2018年1月19日	2018年1月20日～ 2018年2月19日
費用控除後の配当等収益額	689,100円	733,453円	678,465円	522,259円	618,275円	349,320円
費用控除後・繰越大損金繰戻後の有価証券売買等損益額	1,394,364円	2,995,323円	1,942,577円	776,954円	4,108,753円	—円
収益調整金額	2,216,697円	2,293,615円	2,244,034円	2,269,661円	2,277,929円	2,235,089円
分配準備積立金額	25,653,559円	26,173,269円	28,296,125円	30,254,797円	30,585,953円	33,558,081円
当ファンドの分配対象収益額	29,953,720円	32,195,660円	33,161,201円	33,823,671円	37,590,910円	36,142,490円
1万口当たり収益分配対象額	1,205円	1,335円	1,423円	1,454円	1,634円	1,625円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	620,948円	602,582円	582,499円	581,529円	574,912円	555,920円

○分配金のお知らせ

	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/> → 変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）

（2018年1月1日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2018年2月19日現在）

＜マネー・プール マザーファンド＞

下記は、マネー・プール マザーファンド全体(165,364千口)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	第34期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円	%
	99,999	60.2

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ワールド・ココス・ファンド JPYヘッジド・クラス
運 用 方 針	1. 世界各国の金融機関が発行するCoCosを主要投資対象とします。 2. 信用リスクに注視しつつ、リターンの獲得を目指します。 3. 保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 4. 資金動向や市況動向等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投 資 顧 問 会 社	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2015年2月27日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー」について

ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つであり、グローバルに事業を展開しています。また、CoCosが初めて発行された2009年からCoCosへの投資を行っています。

ワールド・コス・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2016年12月31日に終了する期間

(米ドルで表示)

収益

受取配当金	-
銀行利子	8.82
債券利息	2,596,912.47
その他収益	-
	<u>2,596,921.29</u>

費用

管理者報酬	(35,177.22)
創業費償却	(1,909.14)
デリバティブ管理代行手数料	(16,499.80)
投資顧問料	(198,670.27)
運用受託報酬	(3,615.13)
その他費用	(3,716.26)
専門家報酬	(20,283.20)
サブカस्टディアン費用	(6,732.73)
受託者報酬	(10,005.81)
	<u>(296,609.56)</u>

投資純損益

2,300,311.73

投資証券売却に係る実現純損益	(3,365,089.42)
為替予約取引に係る実現純損益	1,032,469.11
その他外国為替取引に係る実現純損益	(62,799.60)
オプション取引に係る実現純損益	1,221,242.27

当期実現純損益

(1,174,177.64)

未実現評価損益の純変動：

- 投資	558,487.45
- 為替予約取引	(20,443.84)
- その他外国為替取引	(290.93)
- オプション取引	(243,634.11)
	<u>294,118.57</u>

営業活動による純資産の減少（純額）

1,420,252.66

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

２．純資産変動計算書

2016年12月31日に終了する期間

(米ドルで表示)

期首の純資産	51,278,434.20
投資純利損益	2,300,311.73
投資証券売却に係る実現純損益	(3,365,089.42)
為替予約取引に係る実現純損益	1,032,469.11
その他為替取引に係る実現純損益	(62,799.60)
オプション取引に係る実現純損益	1,221,242.27
	(1,174,177.64)
未実現評価損益の純変動	
- 投資	558,487.45
- 為替予約取引	(20,443.84)
- その他為替取引	(290.93)
- オプション取引	(243,634.11)
	294,118.57
申込み	
Covered Callクラス	6,290,647.70
JPY-Hedgedクラス	506,347.15
Un-Hedgedクラス	704,404.45
償還	
Covered Callクラス	(21,046,464.04)
JPY-Hedgedクラス	(7,134,946.35)
Un-Hedgedクラス	(3,748,444.94)
配当	
Covered Callクラス	(5,378,688.57)
JPY-Hedgedクラス	(433,130.74)
Un-Hedgedクラス	(525,616.11)
	(30,765,891.45)
期末の純資産	21,932,795.41

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2016年12月31日現在)
(米ドルで表示)

銘柄	通貨	額面／数量	原価	時価	純資産比率
債券					
<i>AUSTRIA</i>					
ERSTE GROUP BANK AG FRN PERPETUAL	EUR	1,600,000	1,780,949.47	1,821,241.02	8.30%
			1,780,949.47	1,821,241.02	8.30%
<i>DENMARK</i>					
DANSKE BANK A/S FRN PERPETUAL	EUR	700,000	798,789.08	774,429.09	3.53%
			798,789.08	774,429.09	3.53%
<i>FRANCE</i>					
BNP PARIBAS SA FRN PERPETUAL	USD	1,085,000	1,094,428.84	1,147,474.34	5.23%
CREDIT AGRICOLE SA FRN PERPETUAL	USD	200,000	211,883.33	202,806.00	0.92%
CREDIT AGRICOLE SA FRN PERPETUAL	USD	1,425,000	1,450,406.25	1,507,008.71	6.87%
SOCIETE GENERALE SA FRN PERPETUAL	USD	1,725,000	1,818,737.15	1,798,415.94	8.20%
			4,575,455.57	4,655,704.99	21.22%
<i>IRELAND</i>					
ALLIED IRISH BANKS PLC FRN PERPETUAL	EUR	1,760,000	1,874,043.92	1,840,395.29	8.39%
BANK OF IRELAND FRN PERPETUAL	EUR	1,445,000	1,618,549.30	1,554,596.02	7.09%
			3,492,593.22	3,394,991.31	15.48%
<i>ITALY</i>					
INTESA SANPAOLO SPA FRN PERPETUAL	USD	625,000	550,000.00	592,649.98	2.70%
			550,000.00	592,649.98	2.70%
<i>NORWAY</i>					
DNB BANK ASA FRN PERPETUAL	USD	315,000	315,000.00	322,352.10	1.47%
			315,000.00	322,352.10	1.47%
<i>SPAIN</i>					
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA SA FRN PERPETUAL	EUR	600,000	682,920.00	683,769.10	3.12%
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA SA FRN PERPETUAL	EUR	1,200,000	1,346,582.25	1,212,730.49	5.53%
BANCO SANTANDER SA FRN PERPETUAL	EUR	600,000	645,368.71	594,815.70	2.71%
			2,674,870.96	2,491,315.29	11.36%
<i>SWITZERLAND</i>					
CREDIT SUISSE GROUP AG FRN PERPETUAL	USD	1,980,000	1,960,460.28	1,929,925.78	8.80%
UBS GROUP AG FRN PERPETUAL	USD	1,775,000	1,850,152.87	1,828,924.54	8.34%
			3,810,613.15	3,758,850.32	17.14%

(2016年12月31日現在)
(米ドルで表示)

銘柄	通貨	額面／数量	原価	時価	純資産比率
<i>UNITED KINGDOM</i>					
BARCLAYS PLC FRN PERPETUAL	EUR	1,425,000	1,622,587.63	1,585,579.51	7.23%
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP PLC FRN PERPETUAL	USD	1,355,000	1,355,000.00	1,285,149.77	5.86%
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP PLC FRN PERPETUAL	USD	280,000	280,000.00	269,102.40	1.23%
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP PLC FRN PERPETUAL	USD	205,000	205,000.00	207,892.56	0.95%
			3,462,587.63	3,347,724.24	15.27%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			21,460,859.08	21,159,258.34	96.47%
CASH AT BANKS				955,969.28	4.36%
OTHER NET LIABILITIES				(182,432.21)	-0.83%
TOTAL NET ASSETS				21,932,795.41	100.00%

(2016年12月31日現在)

為替予約取引

約定日	決済日	通貨	売却	通貨	取得	価格 (米ドル)	未実現評価益 (米ドル)	取引相手
12/28/2016	01/04/2017	USD	851.17	JPY	100,000	857.75	6.58	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
12/29/2016	01/31/2017	JPY	15,700,000	USD	135,039.82	(134,822.20)	217.62	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
12/23/2016	01/31/2017	USD	2,867,386.29	JPY	335,392,440	2,880,149.42	12,763.13	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
TOTAL							12,987.33	

As at December 31, 2016, the unrealized appreciation on these contracts was USD 12,987.33.

為替予約取引

約定日	決済日	通貨	売却	通貨	取得	価格 (米ドル)	未実現評価損 (米ドル)	取引相手
12/29/2016	01/05/2017	USD	68,726.16	JPY	8,000,000	68,625.83	(100.33)	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
12/29/2016	01/05/2017	USD	134,875.09	JPY	15,700,000	134,678.19	(196.90)	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
12/29/2016	01/05/2017	USD	129,720.63	JPY	15,100,000	129,531.25	(189.38)	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
12/23/2016	01/31/2017	EUR	1,342,690.72	USD	1,407,878.35	(1,418,419.91)	(10,541.56)	MITSUBISHI UFJ GLOBAL CUSTODY, LUX
TOTAL							(11,028.17)	

As at December 31, 2016, the unrealized depreciation on these contracts was USD 11,028.17.

オプション取引

銘柄	オプション価格	通貨	想定元本	公正価値 (米ドル)
UBS BASKET FX OPT	-0.000070	USD	(13,742,785)	961.46
			(13,742,785)	961.46

As at December 31, 2016, the investment in options at fair value was USD 961.46.

マネー・プール マザーファンド

《第17期》決算日2018年 1 月15日

[計算期間：2017年 7 月15日～2018年 1 月15日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1 月15日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
	円	%		%			百万円
13期(2016年 1 月14日)	10, 049	0. 0	70. 3	—	—	—	852
14期(2016年 7 月14日)	10, 050	0. 0	62. 2	—	—	—	241
15期(2017年 1 月16日)	10, 047	△0. 0	—	—	—	—	355
16期(2017年 7 月14日)	10, 046	△0. 0	—	—	—	—	284
17期(2018年 1 月15日)	10, 046	0. 0	—	—	—	—	707

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2017年 7 月14日	10, 046	—	—	—	—	—
7 月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
8 月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
9 月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
10月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
11月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
12月末	10, 046	0. 0	—	—	—	—
(期 末)						
2018年 1 月15日	10, 046	0. 0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

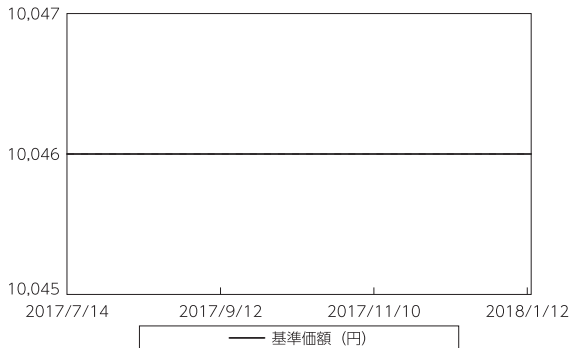
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下はマイナス0.03%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。2017年9月上旬にかけて地政学的リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.23%程度まで低下しました。その後、一時的に上昇したものの、11月下旬にかけてマイナス0.25%程度まで低下しました。期末にかけては短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.14%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、利子等収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月15日～2018年1月15日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 24,699,988	千円 24,699,989

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年1月15日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 199, 999	% 28. 3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 199,999	% 28.3
コール・ローン等、その他	507,890	71.7
投資信託財産総額	707,889	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	707,889,947
コール・ローン等	507,890,052
其他有価証券(評価額)	199,999,895
(B) 負債	562
未払解約金	27
未払利息	535
(C) 純資産総額(A－B)	707,889,385
元本	704,659,552
次期繰越損益金	3,229,833
(D) 受益権総口数	704,659,552口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,046円

<注記事項>

- ①期首元本額 283,155,785円
期中追加設定元本額 597,292,626円
期中一部解約元本額 175,788,859円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0046円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,028,725円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,981,713円
新興国公社債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マネー・プール・ファンドIV	1,095,658円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,977円

○損益の状況 (2017年7月15日～2018年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 14,464
受取利息	751
支払利息	△ 15,215
(B) 当期損益金(A)	△ 14,464
(C) 前期繰越損益金	1,305,358
(D) 追加信託差損益金	2,747,457
(E) 解約差損益金	△ 808,518
(F) 計(B+C+D+E)	3,229,833
次期繰越損益金(F)	3,229,833

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	15,920,294円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999円
マナー・プール・ファンドVI	580,662,025円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
リスク・パリティαオープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	19,618,001円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	24,545,371円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円

U S 短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	704,659,552円

【お 知 ら せ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前 (旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後 (新) <https://www.am.mufg.jp/>)

(2018年1月1日)